

令和 5 年度の事業報告書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 和の学校

1 事業の成果

第 21 期はコロナ後の社会活動再開の 1 年となり、少人数活動スタイルにてイベントが全面再開する年となった。「あそび塾」では楽焼体験、年末の桂坂での注連縄作りの活動を行った。桂坂野鳥遊園事業も中止する活動は無く、もみじ祭りも昨年に続き開催した。特別体験講座は 12 講座、体験者 155 名を含め参加総数は 280 名であった。参加の申し込みもコロナ前に近い状態に戻り、多くのイベントで賑わいを取り戻した。屋外で活動するようにして行っていた活動も室内活用を再開させ、冬季の感染症警戒期間のイベントも予定通り実施できた。ただ、社会全般で再開の動きとなり、秋の行楽シーズンは参加者が落ち込んだ。各地での行事が重なったことなどが要因と思われる。なお、お昼のお弁当やおやつ等の会食は行わないよう制限した。子育て世代のボランティアでは世代交代が進み、新たに若い親子がスタッフに加わった。また今年度の新たな取り組みとして、ホームページを全面リニューアルし、NPO 法人としての実態が分かりやすい構成内容に変更。現状の活動報告や今後の活動方針などをわかりやすく明記する構成に変更し、会報誌との連動性を工夫した。これを機にメールマガジンの発行は終了した。また、次世代への情報伝達効果が高そうなインスタグラムでの情報発信も開始した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
① 情報収集発信事業	ホームページ「和の学校」を全面リニューアルし、Instagram での配信も始めた。和の学校の運営コンセプトや活動情報もホームページ上で紹介。	(A) 通年 (B) 事務所 (C) 5 名	(D) 不特定多数 (E) 約 28 万 800 人 (月間訪問者約 2.34 万人 × 12 ヶ月)	1,797
	メールマガジン及び会報誌「和の学校 学校通信」の発行	(A) 会報誌は年 1 回 (B) 事務所 (C) 5 名	(D) 不特定多数 (E) 会報誌は会員と関係者に向けて 300 通発行	90

②教育・研修・体験・講座事業	あそび塾「山であそぼ」子どもたちやその親たちに、山あそびや川あそび、農業文化体験、手づくりあそび体験などを通じて日本の文化や心を伝える塾の運営			
	抹茶茶碗を作ろう 陶芸教室の開催	(A)令和5年10月8日、11月12日 (B)京都市西京区桂坂野鳥遊園ものづくり体験館 (C)4名	(D)京都を中心とした親子 (E)52名	75
	注連飾り作り 桂坂自治連合会、京都市社会福祉協議会との共催にて実施	(A)令和5年12月27日 (B)京都市西京区桂坂野鳥遊園ものづくり体験館 (C)5名	(D)京都市桂坂自治連合会地区 (E)39名	
	和の学校文化祭での発表に向けた準備、調整	(A)通年（準備進行中） (B)各所 (C)2名	未定（検討中）	25
	講師派遣：各地の小・中・高等学校や団体などに、日本の文化や伝統に携わる人を講師として派遣			
	川西けやき坂文化祭参加。子ども縁日コーナーにて手づくりあそび指導	(A)令和5年11月4日 (B)兵庫県川西市けやき坂公民館 (C)3名	不特定多数	32
	イベント補助：会員などが主体的に各地で和の学校活動を広げるための活動補助事業			
「じぶんだけのハニワを作ろう！」集中するのが苦手、意思の疎通が苦手、手の力が弱いお子さんなどが参加の陶芸教室の開催	(A)令和6年3月24日 (B)京都市西京区桂坂野鳥遊園ものづくり体験館 (C)2名	申し込みがなく実施せず	0	

	和の学校20周年事業として文化祭事業を実施			
	企画検討会を秋以降に数回実施 令和6年12月に実施に向け、計画中	(A) 令和5年秋～ (B) 事務所 (C) 5名		0
	カレンダー販売 暦にちなんだ「歳時記カレンダー」「和食の暦」「ルナカレンダーmini」「月の満ちかけ絵本」をホームページ上等で紹介して販売、また京都市を中心に販売代理店としての位置づけで委託販売	(A) 通年 (B) 事務所、委託先 (C) 13名	(D) 不特定多数 カレンダー182冊販売	410
③ コンサルティング事業	『味の手帖』『これをあげたい!』ページの執筆者、掲載物等のコーディネート。和の学校関係者の薦める「おてみやげ」 4月伊住禮次郎（くるみ餅）、5月前田剛（あんマドレーヌ）、6月市川智也（メンチカツ）、7月高岩シュン（カヌレ）、8月灘さとみ（お茶）、9月山内徳太郎（ちりめん山椒）、10月吉川嘉宏（水晶茶飴）、11月大西英毅（銀の華）、12月河内誠（小形羊羹）、1月森清頭（生はちみつ）、2月伊住公一朗（氷菓糖）、3月伊住禮次郎（りんごパイ）	(A) 令和5年4月～令和6年4月の毎月 (B) 事務所 (C) 4名	(D) 不特定多数	322
	桂坂野鳥遊園の管理運営業務、通年の体験指導並びに特別体験講座12回 4/23 たけのこ掘り、5/7 木工・木端細工、6/11 布ぞうり、7/23 竹の食器、8/13 ソーラーメロディハウス、9/3 水鉄砲、10/29 凧作り、11/26 薪割り薪ストーブ体験、12/17 注連縄飾り作り、1/28 味噌作り、2/25 ひな団子、3/17 しいたけ栽培	(A) 令和5年4月～令和6年3月 特別体験講座12回実施 (B) 京都市西京区桂坂野鳥遊園 (C) 延べ158名	(D) 不特定多数 (E) 特別体験講座参加者280名（体験者は155名）	4,915

(2) その他の事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
物品販売事業	北山杉の間伐材を利用したペレットの販売	(A) 通年 (B) 京都市西京区桂坂野鳥遊園 (C) 1名	(D) 不特定多数 103袋販売	102